

昭和30年代に東山から撮影された町並み。現在船着き場となっている場所には砂浜が広がっており、海で遊んでいる人々の様子が見て取れます。

# ふるさと写真館

## ～未来へつなぐふるさとの思い出～

人々の暮らしや町の移り変わりを切り取ってきた「写真」には、当時の思い出や町の魅力がたくさん詰まっています。思い出を振り返るとともに町の魅力を再発見し、未来へ語り継ぎましょう。

現在の町並み



### 昭和20年代

国道38号線。当時はまだコンクリート舗装もされていませんでした。車の数もあまりありませんでした。

### 昭和25年

戦後初の白糖駒踊り。駒踊りは進化しながら代々受け継がれ、昨年100周年を迎えました。



### 昭和25年

町制施行記念式典の様子。長年町制施行を心待ちにしていた住民たちは、3日間昼夜を問わず祝い続けたとか。

### 昭和30年代

シシャモの加工作業の様子。今も昔も変わらず、1匹ずつ手作業で串に通しています。